

# 日々初心

市長コラム・日々初心  
市長 ● 穂積 志(もとむ)



秋田市東京事務所内にある  
「移住相談センター」

秋田市への移住・定住に関しては、体験ツアーや各種催しへの出展、YouTubeによる動画配信などを行っています。詳しくは次のホームページをご覧ください。  
<http://www.city.akita.akita.jp/city/pl/mn/jiu/>

## ようこそあきたへ② 移住・定住のすすめ

先月号では「秋田市観光myタクシー」をご紹介しながら、秋田の持つ観光資源の豊かさの一端をお話しました。今回は、おもに東京など首都圏との比較において、私なりに考える秋田の素晴らしさについて述べたいと思います。

総務省が先月発表した今年1月1日現在の人口動態調査によれば、全国で人口が増えたのは東京都など6都県だけで、しかも、他の41道府県が人口減少する中、東京については増加幅も拡大しているとのこと。つまり、東京への一極集中がさらに加速している現状が示されました。

確かに、県民所得や求人倍率の高さなどの経済指標、文化・芸術関係施設の集中、大学をはじめとする高等教育機関の充実などを見ると、東京が多くの魅力を持った国際的な大都市であることに疑いを差し挟む余地はありません。また、多様な商業・宿泊施設や各種プロスポーツ、大型テーマパーク

など、大都会のにぎわいや華やかさ、楽しさにおいても大いにひかれるものがあります。

ただ、ここでちよつと立ち止まってみてはいかがでしょう。上京の折、満員電車で揺られるサラリーマンの疲れた表情を見かけたときなど、日々の生活の中で感じる「本当の豊かさ」とは何だろうと、ふと考えることがあります。

四季のメリハリに富んだ豊かな自然環境、細やかな人情、そしておおらかな県民性。全国トップレベルの学力と子育て環境は、これから家庭を持つとうとする若い世代には最適です。加えて、一戸建て持ち家比率の高さに代表される地価・物価の安さや、短い通勤・通学時間による時間的なゆとりも重要です。犯罪や交通事故の発生率の低さ、少ない自然災害は、安全・安心な生活をおくる上でのポイントにもなると思います。

今年本市で作成した移住・定住ガイドブックには、「ちよつどいいか

ら住みやすい」とあります。限られた紙面で全部を紹介できないのが残念ですが、秋田市は、雇用の場やまちなにぎわいなどは都会に及ばないものの、医療・福祉・子育て・学校教育など一定の都市機能を備えています。

学校は夏休みも中盤、まもなくお盆もやってきます。久しぶりに帰省して、ふるさとでこの欄をご覧になっていないかたもいらつしやるのではないのでしょうか。日常生活にとつての本当の幸せとは？ 一考願えたらと思います。

あるいは、今年の夏は帰省できなくても、首都圏などに住むお子さんをお持ちの親御さんも多いことでしょうか。電話や手紙でも、ふるさとの持つ豊かさについて話題にいただければ幸いです。



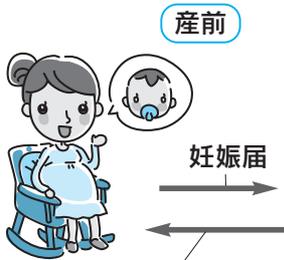
秋田市の移住・定住  
ガイドブック

◆秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。  
「市長ほつとコーナー」<http://www.city.akita.akita.jp/city/mayor/>

# “ネウボラ” 始まります！

## 妊娠から子育てまでを しっかりとサポート！

秋田市の昨年の出生数は2千142人でした。市では、妊婦さんや子育て世代のすべてのみなさんが孤立感を抱くことなく、安心して育児ができるよう、妊娠から子育てまで切れ目のない支援を提供する事業「秋田市版ネウボラ」を10月から実施します。

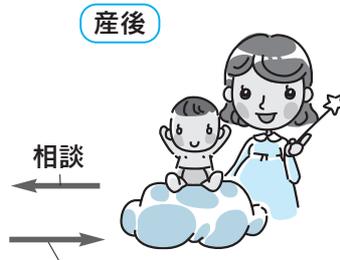


- ・母子健康手帳の交付
- ・必要なサービスのコーディネート



母子保健  
コーディネーター  
(助産師)

イメージ図



- ・アドバイス
- ・必要なサービスのコーディネート

### 「ネウボラ」って何？

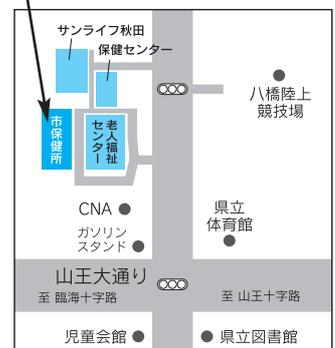
「ネウボラ」とは、フィンランド語で「相談する場」という意味です。フィンランドの子育て支援制度では、妊娠から就学まで1人の助産師や保健師が「かかりつけ」になって相談に応じます。

市では、これらフィンランドの取り組みを参考に、「秋田市版ネウボラ」を子ども健康課に設置し、より安心して育児ができる環境づくりに取り組むこととしました。

### 助産師による相談を 始めています

子ども健康課ではすでに、母子保健コーディネーター(助産師)が中心となり、同課で妊娠の届け出をした際に面談を行い、疑問や質問、困ることがないかをお聴きしています。その上で、産前・産後に利用できるサービスの紹介なども行います。「産後の育児サポートが心配」「妊

子ども健康課 ☎(883)1175  
(八橋南一丁目8-3 市保健所2階)



娠中に気をつけることは？」「上の子の育児も心配」など、妊娠・出産・育児に関することならなんでもご相談いただけます。

なお、市民課、各市民サービスセンターなどで妊娠の届け出をしたかたも、その際に配布される母子健康手帳セットを持って、子ども健康課へおいでいただければ相談に応じます(電話相談もOKです)。

### さまざまな機関との 協力体制を強化します

妊婦さんや子育て世代などが抱く不安を少しでも解消するため、その人に合った、より良いサービスを提供していくことが、母子保健コーディネーターの役割になります。

今後は、保健・医療・福祉など、さまざまな機関で行われている産前・産後に関わる取り組みについての協力体制を強化し、妊娠・出産・育児の切れ目のない支援が行えるようにしていきます。



### 市議会の情報を 発信しています！

市議会定例会の様子を、市議会ホームページと秋田ケーブルテレビで生中継しているほか、定例会の日程などを、スマートフォン向け無料通話・メールアプリの「LINE E」で発信しています。詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。  
<http://www.city.akita.jp/council/>  
[akita.jp/council/](http://akita.jp/council/)



## 大学生のみなさん 議会を見学しませんか

大学生・大学院生を対象に、市議会議場や委員会室の見学、議会の概要説明、市議会議員との意見交換などを行います。

参加無料。先着39人。秋田駅東口からの送迎バス(午後1時30分発)もあります。  
日時▶8月26日(金)  
午後1時50分～3時30分

集合場所▶市民の座(市役所1階)  
申し込み▶電話かEメールで、氏名、電話番号、送迎バス利用の有無を議会事務局議事課へお知らせください。  
☎(888)5784  
Eメール ro-ccpr@city.akita.jp